札幌市立上篠路中学校

学校だより　第５号

～北斗きらめく～　令和8年（2026年）11月６日 発行

上篠路

【学校教育目標】
～明るい未来を拓く～
社会に自立する生徒の育成
【校訓】力強く 心豊かに たゆみなく

学校HP　https://www16.sapporo-c.ed.jp/kamishinoro-j/　　発行者：校長　山﨑　武司

学校祭を振り返って

今年度の学校祭は、昨年度にはなかった新しい部門が複数ありました。1年生は初めての学校祭でしたが、2･3年生のみなさんは昨年度との違いに戸惑いもあったと思います。そのような状況でも、他学級や他学年の仲間とも協力し、前例のないものを創り上げていく時間は、教科の授業ではなかなか味わえない貴重な経験になったと思います。これまでの伝統を受け継ぎながら、新しいものを創り上げたみなさんが、来年度はどのような学校祭を創り上げていくのか、とても楽しみです。

生徒会部　芳賀大二郎教諭

学校全体の一体感を高めたいという思いで、学校祭の準備活動に取り組みました。準備期間中はうまくいかないこともありましたが、当日は役になりきって演じることができ、楽しく一体感のある開会式になったと思いました。部門代表として、周りを見て動くことができるようになったことが成長できたところです。無事に開会式を終えることができて良かったです。

開会式部門担当生徒

速いテンポと難しい振り付けがどうしても仕上がらなくて、ごまかそうと思った時もあったが、様々な努力をして最終的に体育館全体を盛り上げることができた時は、自分でも感動した。ステージ上の動きに関して、もう少し事前に皆とコミュニケーションをとるべきだったという反省点もあったが、中学最後の学校祭で好きな曲で踊ることができて、幸せ者だと思った。

ダンス部門担当生徒









学校祭を通し、みんなで互いの頑張りをたたえ合い、認め合うことができた点が、成長できた所です。リーダーとして明確な指示を出す場面が少なかったことは反省点ですが、直面した課題をスムーズに解決するなど自分の役割を果たし、発表を成功に導くことができました。

１年教科部門担当生徒

学校祭の準備では、最初はなかなか案がでなかったり仕事の分担がうまくいかないこともありましたが、後半になると徐々に団結力や協調性が高まって良かったと思います。今回の学校祭では、周りの人と協力することの大切さや、目標に向かって力を合わせることで1人ではできないことも実現できると学ぶことができました。

２年教科部門担当生徒

学校祭を通して、計画を立てて準備することの大切さを学びました。準備期間の後半は作業が間に合わず焦ってしまったため、最初から何をすべきか明確に決めておく必要があったと感じています。しかし当日は思った以上に盛り上がり、とても嬉しかったです。

３年教科部門担当生徒

今年の学校祭は去年と大きく異なり不安もありましたが、3年生を中心に盛り上げることができて、良かったです。私は部門代表として意見をまとめたり、指示を出す役割を果たすことができました。自分も含め周囲全体が周りを見て積極的に動けるようになるなど、他学年との交流を通して成長でき、良い経験となりました。

シンボルマーク部門担当生徒

役決めの際になかなか決まらず、半強制的に決めてしまったことで男子に少し不満が出て不安でした。しかし、本番が近づくにつれて一体感が生まれ、良い雰囲気で劇に臨むことができました。決定までの時間や計画力、リーダーシップなど自分の反省点も見えましたが、みんなのおかげで中学最後の学校祭で最高の劇をつくることができました。　　**旅行的部門担当生徒**

初めて学年合同で取り組むことに最初は不安もありましたが、それぞれの代表者が後輩をしっかりと引っ張り、良い形に仕上げることができました。初対面の人と協力する中で協調性が深まり、自分から前に出てリーダーとしてまとめる力も身についたと感じています。課題は、人に頼りすぎてしまったことですが、話し合いを進めたり、意見をまとめることができ、自信につながる経験になりました。　　**音楽部門担当生徒**



合唱コンクールを振り返って

第35回合唱コンクールが行われました。今年度は、昨年度と比較して活動時間を大幅に短縮した取組となりましたが、当日はどの学年も練習の成果を存分に発揮し、素晴らしい演奏を披露してくれました。

1年生は、入学からの約半年間で積み重ねた基礎をもとに、フレッシュで勢いのある歌声を届けてくれました。2年生は昨年よりも難易度の高い楽曲に挑戦しました。苦戦する場面もありましたが、直前の集中力とその高まりには、最高学年に向けての期待を感じました。そして3年生は、これまでに育んできた豊かな音楽的感性を発揮し、圧巻のハーモニーを作り上げました。これまで先輩から受け継いできた「合唱」のあるべき姿を、後輩たちに見せる姿は本当に立派でした。

「伝統」を言葉で語ることは簡単です。皆さんの日々の努力の積み重ねこそが、少しずつ「伝統」を作り、受け継がれていくことを改めて実感しました。この「伝統」に誇りをもち、これからも努力し続ける皆さんの姿を心から期待しています。

音楽科　横田拓己教諭

合唱コンクール
【最優秀賞】 ３年１組　２年１組　１年３組
【特別賞】 ３年２組

初めての指揮でうまくいかず、くじけそうになりましたが、先生方やパートリーダー、そしてついてきてくれたクラスメイトのおかげで最後まで頑張れました。最初は目立っていた私語もなくなり、合わなかった歌声がこのクラスにしか奏でられない合唱になりました。このメンバーでトップバッターとしてコンクールを盛り上げられたことを、心から誇りに思います。　　**１年３組生徒**

今年は最優秀賞を頂きましたが、全員で本気になって作り上げた合唱だったかというと、少し悔しさが残ります。合唱が苦手な人も得意な人もいる中で、全員が協力し合うことの難しさを学びました。コンクールはただ賞を取るためではなく、お互いを認め合い、一つの目標に向かってみんなで努力することに意味があります。来年は一人一人が自分の行動を大切にし、全員が「このクラスでやり切った」と思える合唱を一緒に作りたいです。

２年１組生徒

今回の合唱コンクールの曲は、一昨年の3年生が歌っていた思い出の曲でした。当時の優雅で引き込まれる歌声に感動し、「自分たちも最高の歌を作ろう」と決意しました。練習ではピアノの音量に悩み不安もありましたが、調整を重ねて思い通りに表現できました。本番は緊張で足が震えたものの、あの時の決意を胸に全力を出し切ることができました。目標に向かってたゆまず努力することの大切さを改めて実感しました。

３年１組生徒

日本スポーツ振興センター災害共済給付の請求について

学校(園)管理下において、負傷や疾病等の災害が発生した場合、独立行政法人日本スポーツ振興センター(以下「センター」という)災害共済給付金が支給されます。センターのシステム更新に伴い令和8年11月下旬～令和9年1月中旬の期間中、給付金の請求を行うことができません。提出予定の請求がお手元にある場合は、学校(園)でシステム登録を行う必要がありますので、「11月18日まで」に学校にご提出ください。なお、令和9年1月以降は保護者のみなさまが、お持ちのスマートフォンなどからオンラインにて申請できるようになります。詳しくは12月以降に改めてお知らせいたします。